

社会とともに

コーセーの企業メッセージは『美しい知恵 人へ 地球へ』です。

これは化粧品を主体とする美の創造企業を目指すコーセーが、
多くの人々とともに、そして社会とともに、かけがえのない地球とともに、
常により良い関係を追及していききたいという考えを表すものです。
とりわけお客さまや株主の皆さま、地域社会や国際社会で暮らす人々、
お取引先、社員という私たちを取り巻く全ての方々との共生を
第一に掲げた企業活動を展開していきたいと考えています。





障害者の雇用支援と
ノーマライゼーションを目指す

株式会社アドバンス



25番目の特例子会社

企業と人、そして地域社会との共生を目指すコーセーは、障害者の雇用支援の一環として、1992年に株式会社アドバンスを設立しました。障害者の方々が主体となって運営する化粧品製造を企業目的として、コーセーの主力工場である狭山工場にも近い埼玉県狭山市にアドバンス東京工場を建設。1993年に、化粧品業界では初めて、全業種でも全国で25番目の特例子会社としての認可を受け、今日まで活動を続けています。

ノーマライゼーションを实践

アドバンスの特長は、軽作業や補助的作業を目的とする企業ではなく、親会社であるコーセーと同じ化粧品の製造を事業内容とする独立採算企業であることにあります。現在ではクリームや化粧水、乳液、メイクアップ製品などの充填、包装、仕上げ加工に関する業務を中心に行っています。

もちろん障害者だけで全てを運営することはできませんので、同じ製造ラインで障害者と健常者が一緒になって業務を遂行しています。2006年3月現在の社員数は64名ですが、そのうち33名が障害者で、重度障害の方も19名います。障害内容も聴覚・言語障害、肢体障害、知的障害と様々ですが、ノーマライゼーション(障害者が健常者とともに通常に生活すること)を特別に意識することなく実践できていることも10年以上の歴史を持つアドバンスならではのことだと考えています。

安全配慮の徹底した工場施設

アドバンスの工場は障害者でも安全に作業できるように、独自の機能を備えた工場として建設しました。主要な生産設備は2つの充填室と3つの生産ラインですが、点字ブロックの配置や工場内の全てが段差のない設計、自動あるいは半自動のドア、工場内通路の手すり、車椅子者専用のトイレやロッカーの設置、非常灯ランプや非常ブザーの設置、機械の停止を知らせるフラッシュランプ、肢体障害者がラインで作業するための専用椅子など様々な設備をそなえています。

ISO9001とISO14001の認証取得工場

アドバンスの生産能力は月産90万個ですが、お客さまに優れた品質の化粧品をお届けするために、5大方針のひとつに「よりよい品質が生みだせる職場づくり」を掲げています。工程管理に親会社であるコーセーの生産本部と同じシステムを導入しているだけでなく、早くから品質保証に関する国際規格ISO9001にチャレンジして、1998年に認証を取得しています。もちろん、他のコーセーグループの関係会社と同様、国際規格に準じた環境マネジメントシステムを導入した活動を展開して2003年にはISO14001の認証も取得しています。



株式会社アドバンスの概要

所 在	埼玉県狭山市北入曾856-4
設 立	1992年9月2日
資 本 金	9000万円
事業内容	化粧品の製造・販売
生産品目	クリーム、化粧水、乳液、メイクアップ製品
生産能力	月産90万個(サンプル除く)
従業員数	64名

篠崎 智恵子さん(チーフ)

私はアドバンスが始まった時からですが、一般のパートとして勤めはじめました。私はまだチーフになって2年ですが、とにかく毎日が忙しいですね。化粧品は種類が多いため、生産する製品が変わるたびにメンバーに細かく伝えなければならないのです。しかし、アドバンスは縦と横の人間関係の距離が短いところがいいですね。誰かに相談してもすぐ答えが返ってきます。今、メンバーには自分に与えられた仕事を確実にこなすように徹底しているところです。



国分 勝寿さん

私は2003年に入社しましたが、アドバンスに入って驚いたのはいろいろな障害を持った人たちが一緒に働いていることです。設備が整っているから働きやすいので、すごいなと思いました。もちろん、障害の種類によってできることとできないことがあります。お互いに協力しながらやっていくことが当たり前になっています。

私はコーセーグループが導入しているSCM(サプライチェーンマネジメント)に関連した生産実績処理を担当していますが、アドバンスではどの業務でも、自らが考えて改善したり提案できることが特長となっています。だから働きがいがあります。

錦織 愛さん

私はアドバンスに入って10年になります。現在は製造ラインの担当で、リーダーの指示によって基礎化粧品やポイントメイクアップ化粧品の仕上げ作業を中心にやっています。

以前は仕事が終わった後まで会社の人と話したりするのが好きでなかったのですが、このアドバンスに入ってから同僚と休日会ったり、一緒にお祭りに行ったりしています。仕事とは別に会うのも楽しいと思えるようになりました。

今では仕事に大変さを感じませんし、それより自分の業務を完璧にこなしたいと思っています。

江原 真人さん

入社6年目ですが、現在の仕事は資材や完成品の運搬業務で9トン車を運転しています。私は聴覚に障害がありますが、以前から大型車のドライバーになりたいと考えていました。アドバンスに入社して夢がかないました。3年前までは4トン車だったので、重い物が多くいろいろと大変でした。今は最大積載量が倍以上になったので、安定して業務をこなすことができます。アドバンスに入ってよかったと思うことは、障害者だけでなく健常者も一緒に働いているので普通の人も理解できるようになったことです。



有賀 和央さん

ハローワークの勤めで入社して3年になります。障害者としての過去の経験を引きずっていたので、アドバンスに入ったときも大丈夫かなと気にしていたのですが、途中から考え方が変わりました。まわりの人たちが親切に教えてくれるし、普通にあつかってくれます。いろいろ気をつけてくれるのですが、それも必要以上でないから、この会社ならやっていけると思えるようになりました。みんなで協力しあって仕事しているから、けっこう楽しくやっています。仲間同士でカラオケに行くこともありますが、以前では考えられないことでした。



中里 文也さん

私は所沢の職業訓練校を経てアドバンスに入社しました。現在は東大和市から1時間ぐらいかけて通勤しています。仕事はラインで商品の位置合わせや1個箱への能書入れを担当していますが、田中チーフの指示に従ってやっています。アドバンスのいいところは、みんなが一緒になって行く社員旅行やお花見などの行事があることです。私は特に近くのぶどう園に行つてのぶどう狩りが好きです。仕事以外でも仲良くできることはいいことだと思っています。

田中 和美さん(チーフ)

私はもともとコーセーの狭山工場にいたのですが、アドバンスの設立とともにこちらに移ってきました。障害者の人たちと働くのは初めてでしたが、案外苦労はありませんでした。ただ障害の種類と程度もさまざまなので、伝達の仕方を変えなければなりません。例えば、数を記入するのにダース単位をやめて個数表示にしたのもその一例です。あとは現在、次工程からのクレームが起こらないように常に意識して作業するように指導しています。